

masacts

今回、自分は多くのコンピュータ囲碁プログラムにてベースとして使用されているモンテカルロ木探索を用いて着手を行うプログラム作成しました。工夫点といたしましては、自分の制限時間に応じて探索数を変更するように作成しました。以下の参考文献のプログラムの MCTSAgent を参考にして、制限時間に応じてロールアウト回数を変更させるようにして作成しました。

参考文献

- [1] Max Pumperla · Kevin Ferguson, 『Deep Learning and the Game of Go』
公式サイト: <https://www.manning.com/books/deep-learning-and-the-game-of-go>
- [2] Max Pumperla · Kevin Ferguson, (監訳者: 山岡 忠夫), 『囲碁ディープラーニングプログラミング』
公式サイト: <https://book.mynavi.jp/ec/products/detail/id=102957>

参考にさせてもらったコード (参考文献 [1], 参考文献 [2] に記載されているコード)

https://github.com/maxpumperla/deep_learning_and_the_game_of_go